

KIRIN



よろこびが  
つなぐ世界へ

Joy brings us together



環境省 令和6年度 企業の脱炭素実現に向けた統合的な情報開示（炭素中立・循環経済・自然再興）に関する勉強会

2024年10月18日

キリンホールディングス株式会社

- キリングroupと環境ビジョン
- 開示フレームワークの活用

## 自己紹介

**吉川 創祐** (よしかわ そうすけ)

キリンホールディングス株式会社 CSV戦略部

役割：環境チームのリーダー 2024年4月～

- 1) キリングroup環境ビジョン（後述）の実現に向けて事業を通じた環境の取り組みを推進すること
- 2) 環境の変化が企業価値に与える影響を経営者に伝え、グループ経営・事業経営の戦略に反映すること

これまでは1が中心のポジション、個人的には2のウエイトを上げようと思っています

## おおまかな経歴

酒類事業のエンジニアとしてキャリアをスタート

同事業の本社部門、ブラジル赴任、気候変動対策のリーダー、海外留学、サステナビリティレポートのリーダーを経験し、現在の役割へ

# キリンググループと環境ビジョン

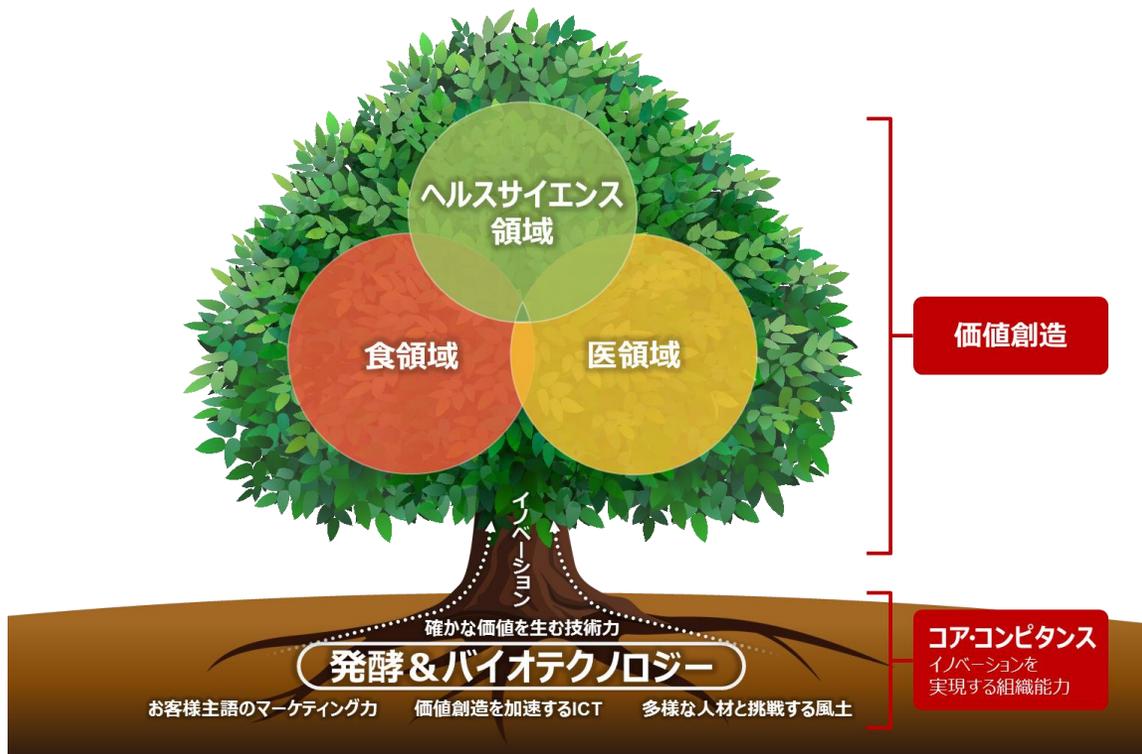
Joy brings us together

# ビール事業で培った発酵・バイオ技術を生かしたユニークな事業ポートフォリオ



- ▶ 食（酒類/飲料）・医に加えて、新たにヘルスサイエンス領域に事業領域を拡大、ユニークな事業ポートフォリオを構築
- ▶ 全ての事業の原料が「農産物」と「水」、即ち自然資本に立脚した事業

## 発酵&バイオテクノロジーが各領域を繋ぐコア・コンピタンス



## 連結売上収益 1兆9,895億円（2022年12月）

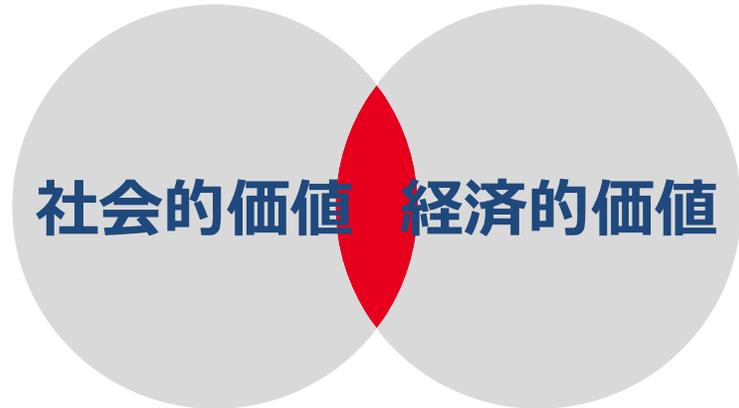
**食領域**  
 キリンビール    キリンビバレッジ    メルシャン    小岩井乳業

**ヘルスサイエンス領域**  
 プラズマ乳酸菌

**医領域**  
 協和キリン

- 社会課題の解決に取り組み、「社会的価値の創造」と「経済的価値の創造」の両立で企業価値向上を目指す
- 「酒類メーカーとしての責任」「健康」「コミュニティ」「環境」という4つのパーパスを追求

## Creating Shared Value 共通価値の創造



- キリングループは、酒類メーカーとしての責任を果たすことを大前提に、**健康、コミュニティ、環境**の3つの社会課題に貢献することをパーパス（社会的存在価値）に据えている

## CSVパーパス



# 「生への畏敬」とキリンの経営思想

- ▶ 「生への畏敬」は、ノーベル平和賞を受賞されたアルベルト・シュバイツァー博士が提唱した理念
- ▶ 「生への畏敬」はものづくりを生業とするキリンのDNAの核として、CSV経営・環境ビジョンのみならず人事の基本理念（「人間性の尊重」）や“One Kirin” ValuesのDiversityなど、グループの経営思想を培っている

## 「生への畏敬」\*

「われは、生きんとする生命にとりかこまれた、生きんとする生命である」

「善とは、生を保ち、生をうながし、発展し得べき生をその最高の価値にまで達せしめること」

アルベルト・シュヴァイツァー博士

## キリンの醸造哲学

「生への畏敬」



## キリングループの経営思想

CSV経営

経済的価値（自社）と同様に社会的価値（周囲）に貢献する

環境経営  
環境ビジョン

自然と人にポジティブな影響を創出する

人事の基本理念  
人間性の尊重

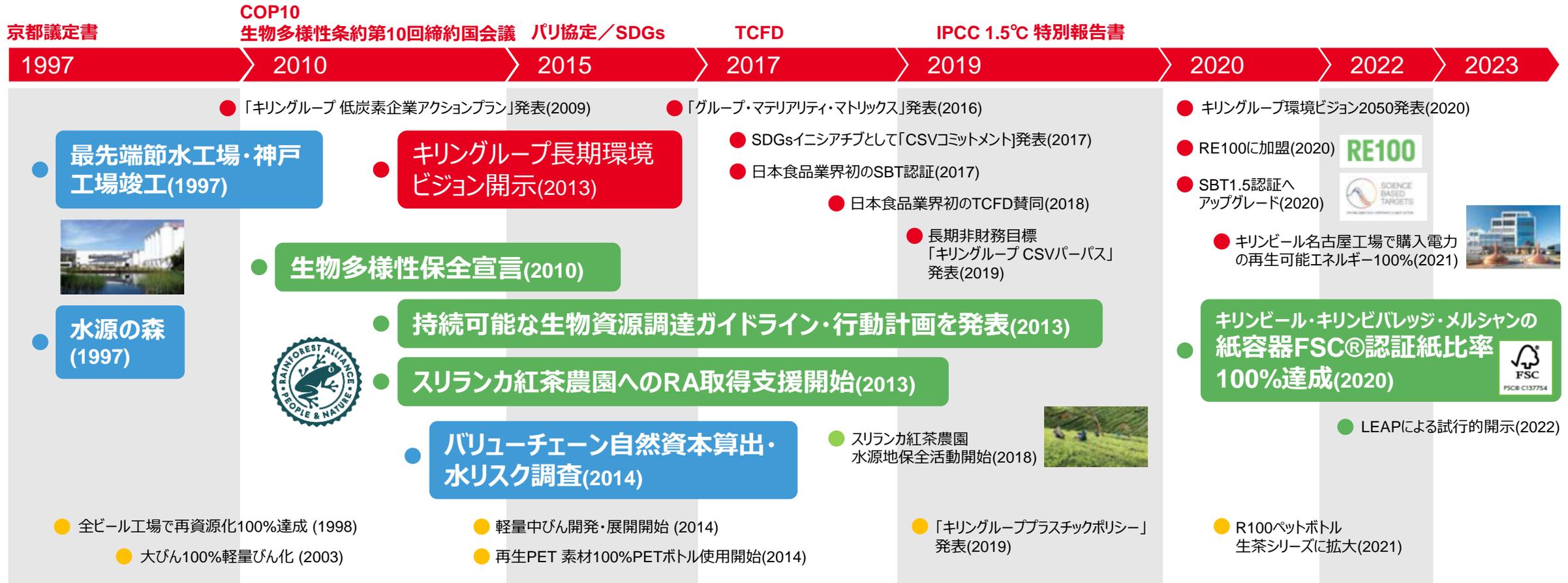
発展し続けようとする社員一人ひとりの努力と個性を尊重し、完全燃焼できる場を積極的につくる

“One Kirin”  
Values

Diversity

# 早い時期から自然資本への対応を実施してきたキリングループ

- 2010年のCOP10を起点として自然資本（生物資源、水資源）のリスク評価を開始
- 2013年には「長期環境ビジョン」「生物資源利用行動計画」を公表し、具体的な取り組みを開始



# 「キリングroup環境ビジョン2050」を2020年に開示

- 環境の4つの重点テーマ（生物資源・水資源・容器包装・気候変動）は、別々の課題ではなく相互に関連しているために、統合的に解決していく
- 単に環境負荷を下げるだけでなく、ポジティブなインパクトを起こすことも目指していく

## キリングroup環境ビジョン2050 ポジティブインパクトで、豊かな地球を

### アプローチ: 統合的 (holistic)

環境のマテリアリティーである「生物資源」「水資源」「容器包装」「気候変動」が別々の課題ではなく、相互に関連すること、そのために統合的に解決することが必要であるという考え方



お客様をはじめ広くステークホルダーと協働し、自然と人にポジティブな影響を創出することで、こころ豊かな社会と地球を次世代につなげます

### 最重要メッセージ: ポジティブインパクト

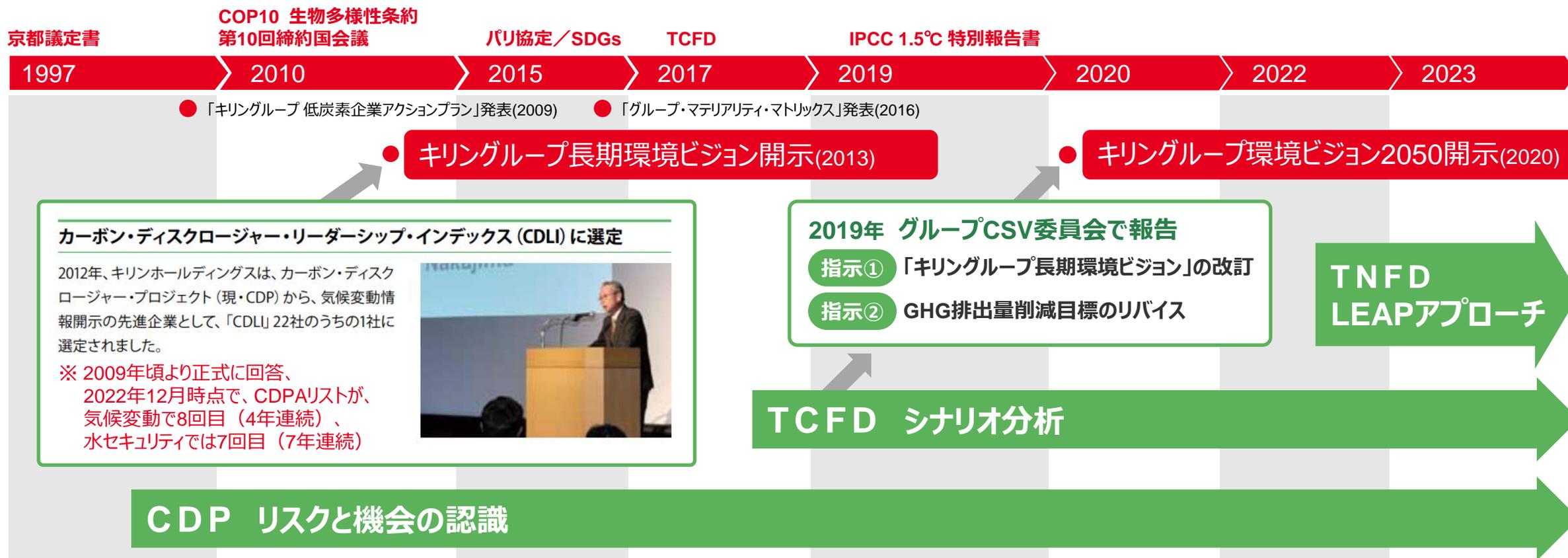
自社で完結する取り組みの枠を超え、**取り組みそのものとその波及範囲を社会全体へ拡大し**、これからの世代を担う若者をはじめとする社会とともに未来を築いていくという考え方

# 開示フレームワークの活用（TCFDとTNFD）

Joy brings us together

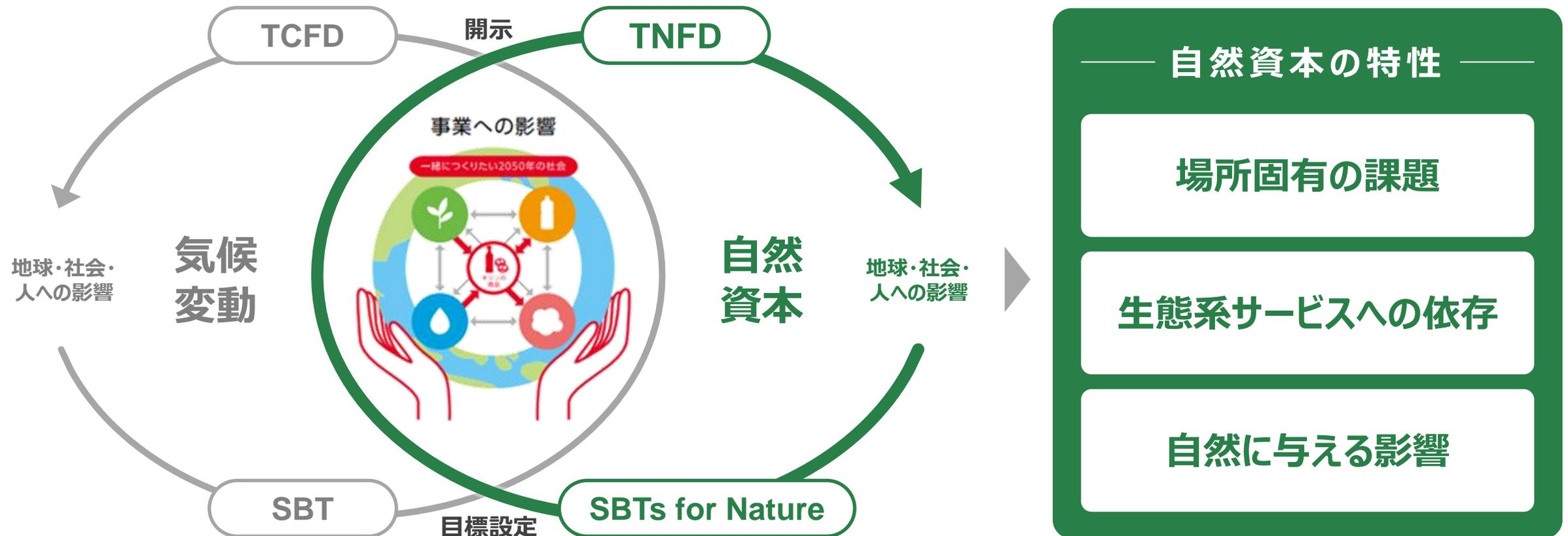
# 開示フレームワークから生まれた環境ビジョン

- 早くからCDPに対応してきたことで把握した「リスクと機会」の認識をベースとして「長期環境ビジョン」を策定
- シナリオ分析結果の説明を受けた経営層から、環境ビジョン改定・GHG排出量削減目標再設定が指示



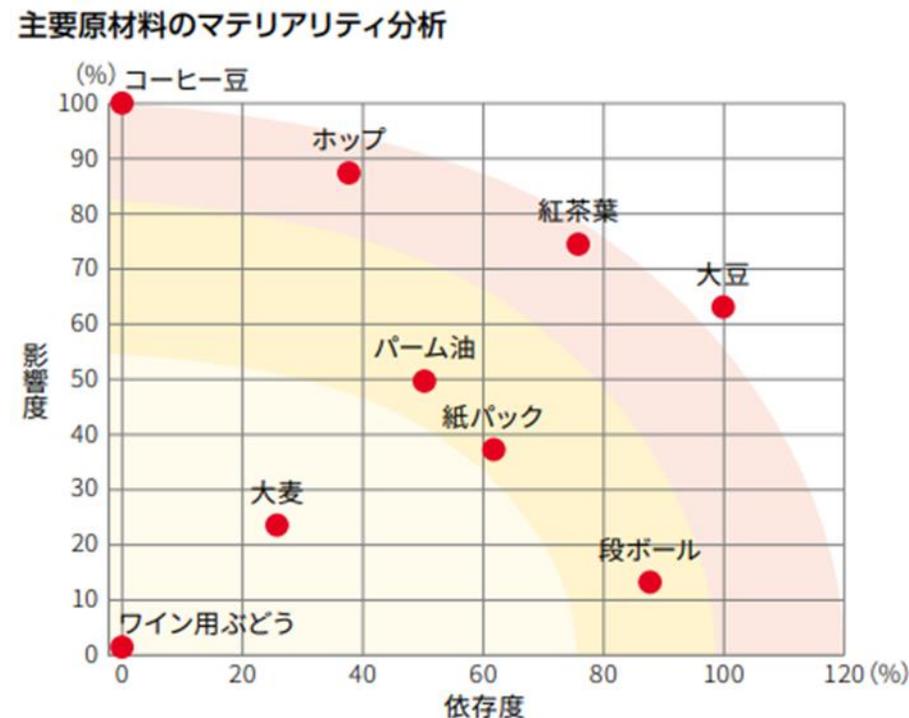
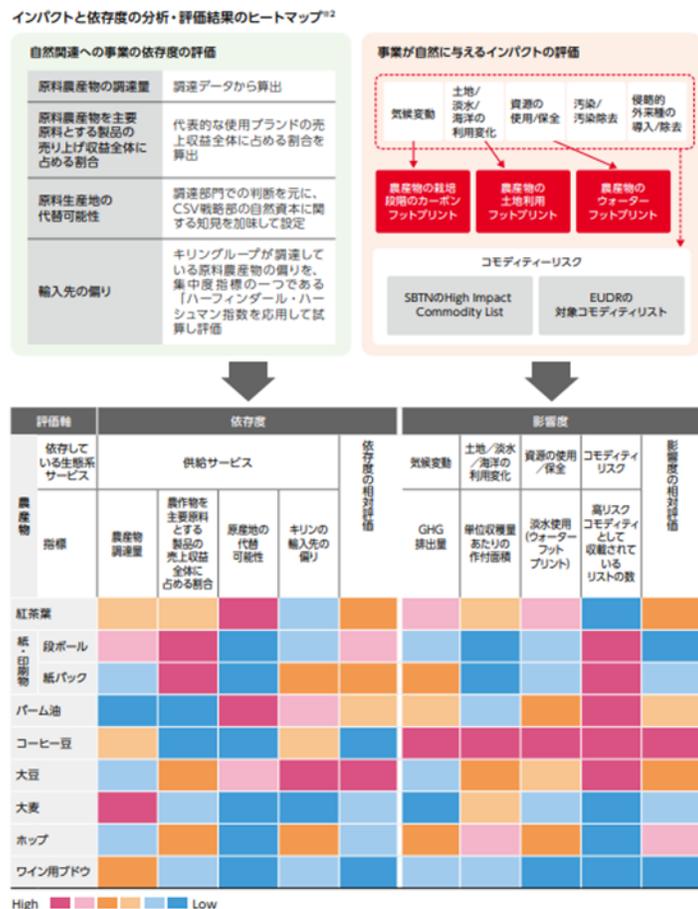
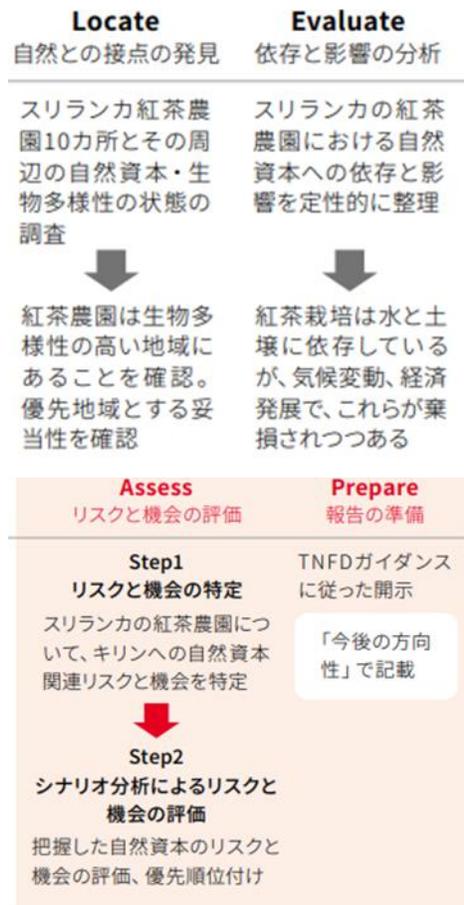
# 統合的アプローチのための重要なピースであるTNFD

- CDP・TCFDによって統合的なアプローチは深化したものの、気候変動を起点にしか論じていない
- 自然資本の「場所」「依存性」の認識を基にしたTNFDは、統合的アプローチを完成させる重要なピース



# LEAPによる「場所」と「依存性」に着目した試行開示

- 2022年の環境報告からLEAPを用いて自然資本のインパクト分析と開示にトライした（当時は世界初）
- 使ってみると、ビジネスのリスクを客観的に把握・説明するためのいいツールと実感



▶ 環境報告書2023以降、TCFD・TNFDの統合的な開示にトライしている

13 **TCFD提言・TNFD提言などに基づいた統合的な環境経営情報開示**

14 ガバナンス

16 戦略  
財務インパクトの評価結果、レジリエンス評価、  
気候変動に関するシナリオ分析、自然資本のマテリアリティ分析  
移行計画（脱炭素社会、ネイチャーポジティブ、サーキュラーエコノミー）

26 リスクとインパクトの管理  
重大なリスクと機会

29 指標と目標

31 外部評価

[キリングroup環境報告書2024 \(kirinholdings.com\)](http://kirinholdings.com)

↑  
ご覧いただき、フィードバックをお願いします！

財務に対するインパクト試算結果

環境テーマ	リスクタイプ	事業リスク/社会課題	財務インパクト
気候変動	物理的リスク <sup>*1</sup>	農産物の収量減 <sup>*2</sup>	2℃シナリオ：13億円～34億円（2050年） 4℃シナリオ：36億円～137億円（2050年）
	移行リスク <sup>*1</sup>	カーボンプライシングによるエネルギー財務インパクト	1.5℃シナリオ：約102億円（2030年） 2℃シナリオ：94億円（2030年） 4℃シナリオ：51億円（2030年）
気候変動・自然資本	物理的リスク	カーボンプライシングによる農産物財務インパクト <sup>*2</sup>	RCP2.6/SSP1：約9億円～約44億円（2050年） RCP8.5/SSP3：約24億円～約88億円（2050年）
		洪水による操業停止	風水害シミュレーション結果：約10億円 過去の災害による実績（10億円～50億円）
自然資本・容器包装	物理的リスク	濁水による操業停止	約0.3～6億円
		ペットボトルのマイナスの影響	約11億円
気候変動	事業機会	認証品の調達	約0.6億円
		感染症増加	免疫健康サプリメント市場：約28,961.4百万米ドル（2030年）
自然資本	事業機会	熱中症増加	熱中症対策飲料市場：約940億円～1,880億円（2100年、4℃シナリオ）
		フードウェイスト削減	約9億円
気候変動	移行リスク	ベトナムコーヒー農園での化学肥料、農薬削減による財務インパクト <sup>*3</sup>	1.1億円
		洪水による製造拠点のエクスポージャー	約10億円～50億円
気候変動	移行リスク	省エネルギー関連法制の強化による関連設備残存簿価	約1.1億円

# 統合的 (holistic) アプローチに向けて

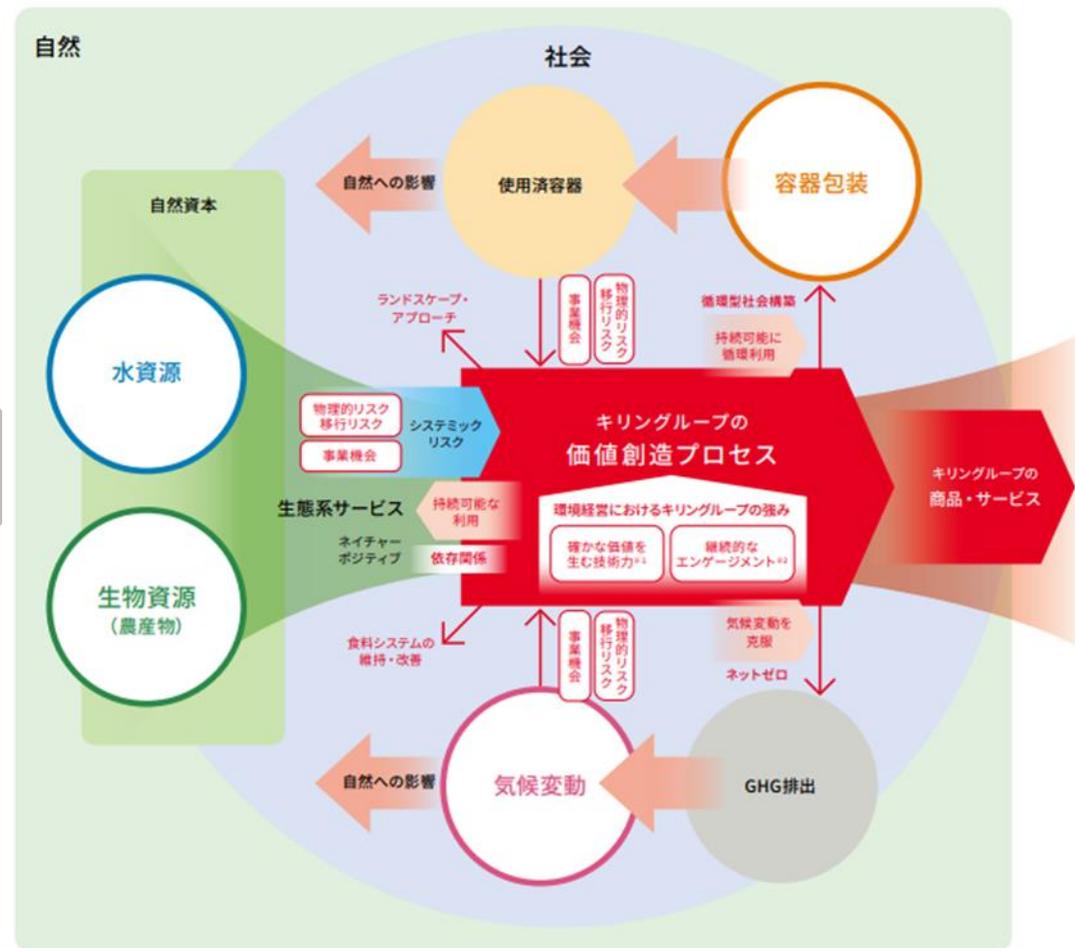
- TCFDに加え、TNFDのフレームワークを活用し、統合的な取り組みを整理し、さらに深化させていく
- このとき、生産地を含むバリューチェーンでのJust Transitionの視点（社会を含むholistic）も重要

キリングループ環境ビジョン2050

ポジティブインパクトで、  
豊かな地球を



お客様をはじめ広くステークホルダーと協働し、自然と人にポジティブな影響を創出することで、こころ豊かな社会と地球を次世代につなげます



しかし、、、  
課題は複雑にかかわりあっていて、ビジネスとしてどこまでやるの？という悩みも尽きない



よろこびがつなぐ世界へ

Joy brings us together